

村松地区村政懇談会 (主な懇談内容)

2025年8月4日

1 「部会活動の楽しいこと、大変なこと」

代表的な意見	村長コメント
<ul style="list-style-type: none">●楽しかったこと<ul style="list-style-type: none">・ 安全安心パトロール、広報紙編集などを通じた人との交流・ 地域ふれあいまつり、世代間交流、防災訓練（炊き出し等）・ 趣味的活動（そば打ちなど）●大変なこと<ul style="list-style-type: none">・ 部会体系が分かりにくい／負担が偏る・ 役員不足・高齢化、新規参加者の少なさ、同じ顔ぶればかり・ 行事のマンネリ化、予算難・ 子ども向け行事・活動の不足	<p>⇒村松地区は3自治会で6部会を回しており負担が大きい。</p> <p>⇒村松地区の特性は新住民が少ないこと。昔からのつながりが強い反面、人員の交代が難しい。無理せず部会の再編を考えた方がいい。</p> <p>⇒教育・福祉部会は他団体と連動しているため今後も残っていくだろう。他の部会は地区に合わせて、どこを残すか考えた方がいい。</p> <p>⇒自治会の事業も年間計画に基づいて動く。翌年度に向けて見直すなら秋頃には決定する必要があるだろう。</p> <p>⇒子どもが少ないことは課題。照沼小が小規模特任校になっていることを逆手にとて、地域と学校とで一体になり、子育て世代に選ばれる地域になってほしい。</p>

2 「地区自治会活動を振り返って、続けたい活動、これから始めたい活動」

代表的な意見	村長のコメント
<p>● 続けたい活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 世代間交流事業、地域ふれあまつり、三世代交流会・ まつりは統合して負担軽減を図る案と、特色を活かし複数維持する案・ 小学生の農業体験・ 防災訓練、防災体験・ 清掃活動、作品展示など地域とつながる行事	⇒世代間交流やまつりを優先的に残したいという考えであれば他を削って、事業の選択と集中が必要である。
<p>● これから始めたい活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 三地区対抗運動会、盆踊り・ 村松地区全体で行う防災訓練・ 集会所を活用した高齢者の居場所づくり、気軽に集まれる場の設置	<p>⇒防災訓練は必要。住民主体では負担になるので、コミセンを中心に実施できるようにしたい。宿題としてあずかる。</p> <p>⇒高齢者の居場所づくりは必要と考えている。集会所の使い方は各自治会にお任せする。</p>

3 村長とのフリートーク

代表的な意見	村長のコメント
<p>●避難所の扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害の形態ごとに避難所が変わるのは分かりにくいのではないか。・ 照沼小学校の施設整備や長期滞在対応を検討できないか。・ 津波で村松コミセンが被災した上、長期避難が見込まれる場合はどこに避難すればよいのか。・ 避難計画は村内在勤者の避難も前提としているのか。・ 災害時に道路が寸断された場合、避難所は誰が開けるのか。	<p>⇒（部長回答）村松コミセンは低い位置にあるため、津波時の避難所は照沼小を指定。災害ごとに最適な避難所が異なるが、迷いのないように周知方法は検討する。</p> <p>⇒（部長回答）学校は教育機能を優先するため、基本的にはコミセンを避難所とする。</p> <p>⇒他の公共施設や民間ホテルを使うなど、段階的に決定する。避難者の生活環境を悪化させないよう努める。</p> <p>⇒基本的には村内在住者を想定。在勤者の避難は新たな課題。</p> <p>⇒物理的に不可能という状況でなければ、歩いてでも村職員が行って開ける。</p>

3 村長とのフリートーク

代表的な意見	村長のコメント
<p>●自治会加入率の低下</p> <ul style="list-style-type: none">若い世帯が自治会に入らず、高齢化で役員の担い手が不足。加入促進のため、行政だけではなく各自治会でも考えなければいけない。村政懇談会などの場で議論したい。	<p>⇒全村的な課題。例えば自治会カードなどの優遇制度を導入しても、メリットだけ享受されて自治会活動に参加してもらえなければ意味がない。本来の自治会の意味を理解してもらう工夫が大切。行政窓口だけではなく、不動産業者等の協力も得ながらあきらめずに声かけを継続する。</p> <p>⇒各自治会でもアイデアがあればぜひ参考にしたい。</p>

A グループ(村松地区)

地区自治会の見直しについて

①部会活動の楽しいこと、大変なこと

地区自治会の組織網
が示されないため、
部会活動の全体が
わからず

安全安心部会に入れて
いるが、当初自分が
なぜこの部会に入ってしまった
のかもわからず

部会においては
自担が大半で
は(大変)

外から団体
イベントが多い
団体の負担

ふれあい地域網
で各部会模擬
店(楽しい)

1人のリヒター
が1回の役割、
かかわる

役割が同じ人に
集中してしまう

1回トロール中に
世間を行かざる。

広報誌「まつり」を
作る事は楽しい。
(企画・編集)

地区社会
参加者が毎回
スタッフ・参加者
の固定化

安全安心部会員の
高齢化が進んで
新しい人が
加入していくのが
難しくなっている

安全Pでコンビの方
との会話
(楽しい)

「まつり」の記事を
集めるのは少し大変。
記事が無いと記事に
ならない。

記事内容の
まとめ

安全Pで
人とコンビ
(大変)

②地区自治会活動を振り返って、続け たい活動や、これから始めたい活動

現在のスケジュ
(続いたり)

ふれあい地域ネット
世代交流会
開催

ふれあい地域ネット
世代間交流は
継続したい

ふれあい地域ネット 続けたい
は、通常は大変な「まつり」
もあるが、続いた

現地部会活動
(続いたり)

部会の改編を
してい

各単位自治会には世代間交流の
自立防災委員会等
かんが、小学校単位で
防災訓練会などがあるが、
訓練として充実させたい

現在の個人的
新しい事業は
で活動しない
もあり(続いた)

新的事業を
始めた
は、通常は大変な「まつり」
もあるが、続いた
参加人数が多い
特に「まつり」イベントに特化
(続いたり)は地域ネット世代間交流

新しい始めて集
「まつり」で会話を
運動会

B グループ(村松地区)

地区自治会の見直しについて

①部会活動の楽しいこと、大変なこと

部会活動の
楽しいこと
大変なこと

楽しいこと

単位自治会とは
別の人との出会い

地域への愛着
人ととのつながり

名前などとこなへ
書くボランティア
→友達が増える

大変なこと

行事への参
加者あつめ

役員の負担が
大きい

役員のなり手の
確保

①大変なこと。
地区全員が会員は来て
くれるといい。
→平日はばかりで
将来消滅しかね

②単位会員が少なく
会員が少ない
大変なこと

みんなの活動と
つながる

川柳のボランティア活動
の人に人の数が少ない
下り物がない

いつも同じ
顔ぶれ

②地区自治会活動を振り返って、続け たい活動や、これから始めたい活動

地区自治会活動を振り
返し、続けたい活動や
これから始めたい活動

振り返り
活動

続けたい活動
ふれあい祭り

小学生の
農業体験

①今は小学生と山川
が接する機会が少なくな
った。そこで

防災訓練
マラソン大会
のボランティア
活動
避難訓練をする
看板見つけ
声かけ

きめ細や
い作業

女性役員
を増やす
女性活躍

始め
活動

今までやって
きた事
新しい事

ふれあい祭り
三世代交流
清掃活動
防災と三世代
交流と一括の
行事

B

C グループ(村松地区)

地区自治会の見直しについて

C グループ

①部会活動の楽しいこと、大変なこと

①

地域の人と
地域をよし
おこなう事を話合ふ事

続けやすい形で
続けたい

おまつり

そば打ち

皆がひびく事、
楽しむ事。

参加者が思つたほど
あつまらなかつた事。

高齢化
新しい人が入会しづらい

パトロール 仕事もいろいろで
参加 難しい

子どもが遊べる
イベントが少なくて
子ども会がない

②地区自治会活動を振り返って、続け たい活動や、これから始めたい活動

②

世代間活動に参加して
多様性とつながり事。

三世代家庭をもつ
地域をめぐる
高齢者の 駆け出

盆踊り

近所の人が
集まるる場所

まつり
定期的に 趣味

イベントの統合
まつり
世代間活動

集まらない
足がまない